

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年10月7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	クールダウンができるように多数の個室を設置している。	県の現地調査で許可を得ている。様々な特性を持たれた児童が在籍しているため、
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	緊急を要する児童を受け入れ、定員を超えてしまう場合は、保育士や児童指導員を増員し対応している。	課外活動などを実施する際、児童たちとおもいきり一緒に活動できる若い男性保育士や児童指導員を増員したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	玄関に段差があるため、手すりを設け対応している。また衝撃吸収対応として、全面に柔道畳やマットを敷いている。	現在のところ絵カードなど構造化された環境を必要とする児童が在籍していないが、今後必要とする児童を受け入れた場合、適宜配慮していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日サービス提供前後に職員による清掃をしている。また児童の活動の一端として、帰宅前に全児童で清掃しているため、清潔感のある施設となっている。	女子の活動部屋を広くしたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	クールダウンが必要な児童が、一人で過ごせる場所を多めに確保している。	自由活動では、男女分かれて活動することが多く、女子専用の部屋を確保したい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎日、サービス提供前後に職員会議を実施している。	職員、非常勤職員が全員そろった状態で、業務改善に向けた会議を実施したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎日の職員会議で情報共有を行い、支援計画、業務改善につなげている。	現状維持
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎日の職員会議で聞き取りや情報共有を行い、業務改善につなげている。	現状維持
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	現段階で、第三者評価を実施していない。	現段階で、第三者評価を実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	児童発達支援管理責任者、強度行動障害養成研修など外部研修や入職時の施設内研修を実施している。	無資格の職員でも自信をもって支援にあたるよう研修受講の機会を設け、資格を取得させたい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページにて公表している。また施設内に掲示している。	現状維持
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	契約時、モニタリング時にアセスメントを実施。児童及び保護者、相談支援員さん立ち合いの下、保護者より聞き取りを行いご要望、困りごとなどを確認、また児童との面談聞き取りを実施した上で、個別支援計画を作成している。	現状維持
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎回、職員会議を実施したうえで、職員に情報共有し、各々の児童にとって最善の利益となる支援を心掛けている。	現状維持
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	毎回、職員会議を実施したうえで、職員に情報共有している。	現状維持
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	一度きりの評価ではなく、日常的な場面から情報を集めたり、面接での聞き取りや課題の過程や結果などから、個人の特性やニーズを深く理解するようにしている。これらの結果を職員間で共有し、支援目標に対する検証や個別支援計画の見直しのために継続的に行っている。	現状維持
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	本人支援、家族支援は勿論、移行支援や地域連携などについては、感染症流行で難しい状況ではあったが、学校教諭や警察官などの協力の下、柔道教室や国際交流、農業体験などの場に参加させていただいている。	開設したばかりで間もないため、現時点では地域住民との連携を図れていない。障害児に対する理解を高め、地域住民の方の支持が得られるよう清掃活動などを通じて距離を縮めていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎日の職員会議で情報共有を行い、プログラムを作成している。	現状維持

活動の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	長期休暇時は、児童の体調、天候などにより予定を変更・確定したり、児童から直接聞き取りなどを行い、行きたいところ、やってみたいことなど福祉施設に計画を立て取り組んでいる。	現状維持
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	気分や体調により、集団活動に入れそうにない場合は、静養室や職員室など、個別で活動できるように配慮している。	現状維持
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎日の職員会議で情報共有し、支援内容や役割を決めている。	現状維持
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日の職員会議で情報共有し、振り返えをしている。送迎で間に合わなかった職員や非常勤職員に対しては、グループlineを活用し、その日のうちに情報を共有している。	現状維持
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	主任保育士の指導の下、時系列で児童の様子を記録している。また表情などの様子が分かるように、写真を撮影している。	現状維持
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	学校や家庭、相談支援員と常に情報を共有しており、課題が見つかった場合は早急に担当者会議などを実施し、柔軟性をもって個別支援計画の見直しを行っている。	現状維持
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	ひとりひとりの個別支援計画に基づいて支援している。また支援計画に示した課題以外に必要な支援を感じた場合は、職員会議の際に話し合い、柔軟性をもって支援計画に取り入れている。	現状維持
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	適宜、児童との面談を実施し、自己決定の場を設けている。	現状維持
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	学校など他機関で会議が主催された場合は、管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。また、本事業所での実施の際は、主任保育士も参加している。	現状維持
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	就学やクラスの移行（支援級→交流級）の際は、各関係機関と連携し支援内容を決定している。また不登校傾向にある児童に関しては、福祉課や教育機関に相談し助言をいただいている。	食の崩りやダイエット志向を持つ児童も在籍しているため、協力医療機関などの指示を仰ぎ、児童が食の大切さを理解できるよう取り組んでいきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	担当者会議や関係機関会議及び送迎時などを利用し、適宜情報共有や連絡調整などを行っている。	現状維持
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	就学やクラスの移行（支援級→交流級）の際は、各関係機関が集まり情報共有、相互理解をした上で、個別支援計画の見直しや作成をしている。	現状維持
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	現在、該当児童が在籍していない。	該当児童が在籍する場合は、しっかり情報を共有し、途切れない支援を継続していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8	現在のところ、助言を受けなければならないほどの児童をお預かりしていないが、必要に応じ、子ども課などに相談をしている。	職員の勤務体制を調整し、スーパーバイザーの研修を受講する機会を設けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	学校教諭や警察官などの協力の下、柔道教室や国際交流などを通じ、他の子どもたちと一緒に活動する機会があった。	地域の子どもたちと一緒に活動する機会を設けたい。非常勤職員に対しても声がけし、希望者に対しては参加する機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	送迎時間と重なり出席できないこともあったが、出来る限り参加できるように努めている。	勤務体制を調整し、出来る限り参加できるようにしたい。また非常勤職員に対しても声がけし、希望者に対しては参加する機会を設けたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	毎日のサービス提供記録や保護者連絡のツールを活用し、情報共有を行い共通理解をしている。	現状維持
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	ペアレントトレーニングや研修実施とまではできていないが、毎日のサービス提供記録や保護者連絡のツールを活用し、情報共有を行い共通理解をしている。	ペアレントトレーニングの資格を取得し、家族に対して、子育てに関する研修を実施したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に行っている。	緊急で受け入れる場合も、利用開始前に丁寧に説明できる時間を設ける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	施設に見学に来られた際や契約時にアセスメントを実施し、子どもや保護者から聞き取りを行い、子どもの最善の利益を考慮し、個別支援計画の作成を行っている。	現状維持
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	契約時に行っている。	緊急で受け入れる場合も、利用開始前に丁寧に説明できる時間を設ける。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	4	毎日のサービス提供記録や保護者連絡のツールを活用し相談に対応している。必要に応じて、施設にご来所いただき、対面での相談に対応している。しかしながら、非常勤職員においては、直接保護者と対面する機会が少ないため、助言をするまでの役割を与えていない。	カスハラ観点から、保護者に対し対応時間を（21時以降の場合は、翌朝9時以降に回答）明確に周知する。非常勤職員にも保護者対応できる機会を与えていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	保護者会等を開催し、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	兄弟を受入れる場合の安全対策をたてる。また、保護者会などの行事を開催する際は、非常勤職員にも積極的に参加していただけるよう取り組んでいきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	子どもとの面談や聞き取りは必要に応じて随時行っている。また現在のところ保護者からの苦情はないが、相談申し入れがあった場合は、施設にご来所いただき、対面での相談に対応している。	現状維持
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日のサービス提供記録や保護者連絡、Instagramなどのツールを活用し、情報を発信している。	現在、常勤2名の職員に担当してもらっているが、全職員がInstagramなどの投稿ができるよう勉強していきたい。また個人情報については、さらに厳重に取り扱うよう注意していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	契約時に説明を行い、承諾書をいただいている。	契約時に説明し「承諾書」をいただいているが、関係機関の会議やSNS・サービス提供記録など、項目ごとに細かく明記し、再度承諾書を取り直す。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	特性により、口頭での意思の疎通が難しい児童に対しては、主任保育士が主となり、交換ノートを用いて意思の疎通をしている。外国籍の保護者に対しては、ひらがなやローマ字明記するように配慮している。	語学学習を試みたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	事業所開設時に、住民の方々を招き、事業所運営に関する説明会を実施した。これまで地域住民を招待する活動はまだできていない。	安全管理の観点から、関係者以外への出入りを積極的に受け入れてこなかったが、今後は地域の清掃活動などを通じ、地域住民との密接な関係を構築していきたい。それにより、安心して事業所内に地域の方々を招き入れる機会を作っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	利用児童に対しては、定期的に訓練を実施している。職員に対しては、入職時に研修及び訓練を実施し周知している。また保護者に対しては、契約時に説明を行い、いつでも閲覧できるよう事業所玄関先に設置している。	現状維持
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	職員に対しては研修及び定期的な訓練を実施し周知している。	現状維持
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に確認している。	契約時にも説明しているが、服薬については、今後も事業所内では行わない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	現在のところ、該当児童が在籍していない。	アレルギー症状を引き起こす食材を保管しない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	入職時に職員に対しては研修及び訓練を実施し周知している。また、防犯カメラの設置や外部から専門家を招き助言をいただいている。	好奇心旺盛な児童が多数在籍しているため、利用毎に随時声かけによる指導をする。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約時に説明している。また、連絡ツールを通じ周知している。	現状維持
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	現在のところ、ヒヤリハット事例はないが、マニュアルを作成し対応している。また、全車両にバックモニターを設置した。	送迎及び外出時のルート点検を徹底する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	入職時に職員に対しては研修を実施している。	現状維持
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在のところ、該当児童が在籍していないが、マニュアルを作成している。	現状維持